

3. EBPMの実現に向けた予算事業のデータベース化とID附番による「見える化」の推進

- 今回の2024年度予算から、「レビューシートシステム」（RSシステム）を導入し、以下の取組を行う。
- 個々の事業のKPI、支出先など行政事業レビューシート上の全ての情報をデータベース化し、一般公開（2024年4月から入力機能、2024年9月から公開機能を稼働予定。）
 - 個々の行政事業レビューシート・基金シートに「予算事業ID」を附番し、RSシステムで一元管理
- ⇒ これにより、予算事業の経年比較や検索が可能となり、データ分析が容易となる。
（参考）行政事業レビューシートは、当初予算のみならず補正予算も含め、約5,000事業に分けて作成・公表しており、この中で、EBPMを実現するため、短期・中期・長期の具体的なKPIを記載。

RSシステム導入と予算事業ID附番

毎年継続される事業であっても、事業番号（整理番号）が変わる為、事業を経年で追うことができない。

予算事業IDを附番し、継続管理。過去データを含め一元管理し、経年変化を把握可能。

年度選択により、当該年度のシートを表示

年度	シート名
2018	点検評価 支出先
2019	
2020	ihlw_RS_10
2021	
2022	事者の育成

担当組織 厚生労働省 | 厚生労働省 | 医政局 | 厚生労働
作成責任者 user349 | 厚生労働省 | 医政局 | 地域医療計

歳出予算項目
内閣府 / 内閣本府 / 内閣本府共通費 / 職員基本給...

- 皇室費 >
- 内閣府 >
- デジタル庁 >
- 厚生労働省 >
- 内閣本府 >
- 地方創生推進事務局 >
- 内閣本府共通費 >
- 職員基本給
- 委員等旅費
- 赴任旅費
- 職員基本給
- おご給費

予算「項」「目」データの選択
入力インターフェース

見える化

5,000ファイルのエクセルデータが毎年発生。（分析できないテキストデータと数値データ）

RSシステムでは、データをシステムで一元管理。
分析したい単位での検索・分析が容易に実現。

グラフ形状を自由に選択可能（円、折れ線、棒、等）。府省庁→部局→課とドリルダウンによる閲覧が可能。

